

四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 5 月 10 日

No. 7

4 月 27 日（火）19 時より四谷第三小学校で第 7 回の協議会が開催されました。

はじめに事務局から 23,24 日に実施された第六次・学校適正配置計画(案)地域説明会の報告があり、その後協議に移りましたが、今回は区から提示された、新校に併設する幼稚園を幼保一元化施設とする方針について質疑が集中しました。

幼保一元化そのものに反対の意見はありませんでしたが、具体的な計画がまだ示されていないため、一小の敷地で小学校と幼保施設がともに十分な広さを確保できるのか心配する意見が相次ぎました。事務局はこれらのご意見を区へ伝えることと、できるだけ早い機会に具体的な計画を説明できるよう努力することを約束しました。

その結果、幼保施設の検討は基本的に別の場にゆだね、統合協議会は新しい小学校についての要望等の協議を進めていくことになり、三小学校の適正配置計画(案)は異議なく了承されました。これを受け 5 月 7 日の教育委員会で計画決定されました。

主な発言内容は下記のとおりです。次回は 6 月中旬以降に四谷第四小学校で開催の予定です。

主 な 発 言 内 容

- ・ 幼保一元化施設の話が急に出てきたのはなぜか。区の方針ならもっと早く説明できたらう。
- ・ 小学校部分が圧迫されたり、校庭が狭くなったりしないのか。園庭は確保できるのか。
- ・ 幼保は悪いことではないが、スペースが問題。子供を地下に押し込めるわけにもいかない。
- ・ 幼保一元化は特区でいくつか出来ているが、どこも単独の施設で小学校に併設の例はない。小学校に併設するメリットはあるのか。
- ・ 子供は外でのびのび遊ばせたいが、幼保が入ると一小ではそれができないだろう。四小に幼保のモデルとなる施設を作るのがいいのではないか。
- ・ 技術部門だけでなく、使う側の先生方や保育士の方も一緒になって施設を検討するべき。技術部門の言い分だけを信用するのは危険だと思う。
- ・ 教委は大丈夫と言うが、なぜ大丈夫なのか分からない。建物を増やせば校庭が狭くなる。校庭を減らさずにきちんとゆとりのある校舎ができることを示してほしい。協議会としてそのような意思表示をするべきではないか。
- ・ たまたま新しい小学校ができるのでついでに幼保もということか。図面を描いてみたらやっぱり駄目だったということにならないか。
- ・ 協議会を原点に戻してほしい。幼保は別の場で検討してもらうことにして、小学校について協議を進めてはどうか。
- ・ 幼保の話は皆さん理解できてないだろう。もっと幼保が具体的な形になってこないところで話をしても仕方がない。小学校に悪い影響を及ぼさないようにしてほしいということは、教委からはっきり申し入れていただきたい。